

SpeI

I. 認識配列

5'.....A▼CTAG T.....3'
3'.....T GATC▲A.....5'

II. 保存

-20°C

III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 µl 中、1 µg の pB315 DNA を 37°C、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

IV. 起源

Sphaerotilus natans

V. 形状

50 mM KCl
10 mM Tris-HCl (pH 7.5)
0.1 mM EDTA
1 mM DTT
0.2 mg/ml BSA
50% Glycerol

VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37°C
・バッファー : M

{	50 mM	NaCl
	10 mM	Tris-HCl (pH 7.9)
	10 mM	MgCl ₂
	1 mM	DTT

VII. 添付品

・10 x M Buffer (水色ラベル)
添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。
制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	(75)	100	10	(75)	75

VIII. 純度

本酵素 20 units と 1 µg の pB315 DNA を 37°C で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

IX. 結合試験

本酵素で完全に切断された pB315 DNA フラグメント 80% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 100% が本酵素で再切断される。

X. 備考

制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。